

高度職業訓練「マシニングセンタ実践技術（プログラミング編）」受講報告

教育研究技術支援センター 技術第1班 鈴木 徹

1. はじめに

(独)山形職業訓練支援センターで実施している在職者向け職業訓練「マシニングセンタ実践技術（プログラミング編）」講習を受講させていただいた。

2. 日 程

日 時：平成 25 年 2 月 4～8 日

会 場：山形職業訓練支援センター

3. カリキュラム抜粋

第 1～4 日目前半

MC プログラミング講義と実習

第 4 日目後半～第 5 日

MC プログラミング課題

4. 概 要

切削加工を行う生産現場で普及している MC 工作機を運転するためには、機械動作情報を事細かく正確に漏れなく NC 言語で記述する必要がある。本講座は NC 加工プログラミングの基礎を学ぶ講座である。

講習は講義とそれに伴う実習という形で進行し、最後に加工課題のプログラミングと実際の加工を実施するスタイルで行われ

た。なお、当講座はタイトルに「プログラミング編」と付いているとおり、プログラミングに重きを置いた講座であり、実際の加工に関しては深いところまで実施しておらず、それは別講座となっている。

私はこれまで NC プログラミングおよび加工を行ったことがなかったため、まったくの初心者としての参加であったが、この講座を受講したことで、ごく基本的な NC プログラミングの基礎は理解できた。

しかしながら、NC 加工においてプログラムを書ける、ということなどはさほどの意味を持たないこともまた、自然に理解できた。この講習を通して私が思ったのは、NC 加工の肝は、図面を与えられたとき、それを MC で加工する上で、どのような加工を計画すれば

- ・MC で実際に切削している時間をいかに長く保てるか

- ・加工物の仕上がりをいかに美しく加工できるか

が重要で、それが考慮された NC プログラムが書けることが重要なのだと思った。